

秋田県立大学システム科学技術研究科博士後期課程 特別早期修了制度申請案内

— 令和5年3月実施入学者選抜試験志願者用 —

1 制度の概要

既に一定の研究実績や能力を有する社会人を対象に、標準修業年限が3年である博士後期課程を最短1年（3年未満）で修了し、課程博士の学位を取得できる制度です。

入学者選抜試験出願前に審査を行い、優れた業績を上げた者と認められた場合、入学者選抜試験に合格することで入学後に制度の適用を受けることができます。

2 申請要件

- (1) 社会人特別選抜（3月実施試験）の出願資格を有し、同選抜試験に出願予定であること。
- (2) 入学時前に、入学後の研究課題に関連した学位取得条件である以下の業績を有する者であること。
原則として原著論文の発表が3件以上あり、うち1件以上はトップオーサーであること。
また、3件のうち1件はその分野で評価されている専門誌への投稿であること。

3 制度の適用が認められた場合の学修について

以下の単位の修得を修了要件とします。

| 授業科目 | 単位 |
|--------------------------|----|
| 共通基盤科目又は学際専門科目の選択科目から2単位 | 2 |
| 博士論文特別研究 | 8 |
| 修了に必要な単位数の合計 | 10 |

4 学位取得までのながれ

| | 日程 | 必要な手続き等 |
|-----|-----------|---|
| 入学前 | 12月上旬 | 入学資格審査（該当者のみ） 特別早期修了制度申請 ※入学資格審査の該当者については、学生募集要項で確認してください |
| | 1月下旬 | 入学資格審査結果通知 特別早期修了制度適用可否通知 |
| | 1月下旬～2月上旬 | 3月実施試験出願期間 |
| | 3月上旬 | 試験実施 |
| | 3月上旬 | 合格発表 |
| | 3月中旬 | 入学手続 |
| 入学後 | 4月 | 入学 |
| | 8月 | 早期修了申出 |
| | 11月 | 学位論文予備審査 |
| | 1月 | 審査用学位論文提出 |
| | 2月中旬 | 学位論文審査会 |
| 3月 | 修了・学位授与 | |

※1年で学位を取得する場合

5 論文審査について

博士学位論文の審査にあたっては、本審査に先立ち、早期修了の申出を行い予備審査を受け、合格する必要があります。

(1) 予備審査願提出要件

次の要件を満たすか、またはその見込みのあること。

- ① 博士論文の単位を除き、他に修了に必要な単位を修得済であること。
- ② 原著論文の発表が3件以上あり、うち1件以上はトップオーサーであること。
また、3件のうち1件以上はその分野で評価されている専門誌への投稿であること。

(2) 論文審査スケジュール

| 早期修了 申出 | 予備審査願 提出 | 予備審査結果 承認 | 本審査願提出 | 本審査結果 承認 | 学位授与 |
|------------|-------------|--------------|--------|-------------|-------|
| 8月(中) | 10月(中) | 12月(上) | 1月(中) | 3月(上) | 3月(下) |

6 申請手続き等について

特別早期修了制度の適用を希望する方は、以下の書類を提出することにより審査を受けることができます。

申請にあたっては、本研究科博士後期課程学生募集要項を参照の上、必ず志望指導教員に問い合わせてください。また、提出書類の内容について十分にご相談ください。

(1) 提出書類

- ① 特別早期修了制度申請書
- ② 履歴書
- ③ 業績一覧
- ④ 博士学位論文の構想

(2) 各書類の詳細

- ① 特別早期修了制度申請書
 - (a) 業務内容と志望分野の関係欄には、最終学歴における専門分野および職歴における業務内容と志望分野との関係について簡単に記入してください。
 - (b) 特別早期修了申請理由欄には、博士号取得を希望する動機と特別早期修了を希望する理由を記入してください。
- ② 履歴書
 - (a) 年月日はすべて西暦で記入してください。
 - (b) 「本籍又は国籍」欄には、日本国籍の場合は都道府県名を、外国籍の場合は国名を記入してください。
 - (c) 「連絡先」欄には、現住所以外の連絡先がある場合に記入してください。記入がある場合には、本学からの連絡は連絡先に行います。
 - (d) 「学歴」欄について
 - ・ 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を、すべて記入してください。
 - ・ 本研究科以外で博士の学位を取得している場合には、その年月と授与された機関を明記してください。
 - (e) 「職歴」欄には、現在の職を含め職歴のすべてを記入し、職名、役職等も記入してください。期間を明記してください。

※「学歴」欄、「職歴」欄等は、A4版1枚に記入しきれない場合は、適宜欄を広げるか、別紙に記載してください。(2枚以上になっても構いません。)

③ 業績一覧

- (a) 記入は、学術論文（査読付き）、総説、国際会議発表論文（査読付き）、著書、特許、その他に区分し、それぞれ年月順（西暦を用い、現在から過去に遡る）に、著書・論文等の名称、発行又は発表年月、発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称、単著・共著の別、概要を記入してください。
- (b) 学術論文の発表雑誌については、名称の他に、巻、号、頁を記入してください。概要の記入にあたっては、次の点に留意してください。
- ・ 著書、学術論文等の概要について、各著書・学術論文等ごとに簡潔に記入してください。
 - ・ 共著の場合は、担当部分及び頁数を明記し、また、本人の氏名を含め著者全員の氏名を、当該著書・学術論文等に記載された順に記入してください。
- (c) 特許等については、次のような職務上の実績を記入してください。
- (例) ・ 開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要
- ・ 取得した特許等の概要
大学との共同研究による研究実績がある場合その概要、成果、本人の役割
- (d) その他については、作品、受賞等について記入してください。
- ※ 記入欄が不足する場合は、適宜欄を調整するか、追加してください。（3枚以上になっても構いません。）

④ 博士学位論文の構想

- (a) A4判2～4枚程度で作成してください。（課題や関連分野の調査を含む）
- (b) 業績一覧で挙げた論文等の内容に基づいて、学位論文執筆の構想について記述してください。
- (c) 上記の学位論文の構想に基づいて、学位論文を執筆するにあたり、課題として残されていることがあれば記述してください。
- (d) 博士学位論文の研究テーマの背景や関連分野について簡単に記述してください。

7 申請受付期間

令和4年11月28日（月）～ 令和4年12月2日（金）

8 審査結果

制度適用の可否については、令和5年1月16日（月）までに本人あてに通知します。

特別早期修了制度の適用が適当でないと判断された場合、課程修了のためには3年の在学期間が必要となります。（修了に必要な単位は16単位となります。）ただし、在学中に優れた業績を挙げたと認められた場合には、早期修了制度の適用を受けることにより、3年未満での修了が可能となる場合があります。

提出先・問い合わせ先

〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4

秋田県立大学 本荘キャンパス事務局教務チーム

☎ 0184-27-2100

✉ H-KEIZI-ML@akita-pu.ac.jp

対応時間：月～金曜日 9：00～17：00（土・日・祝日及び年末年始は除く）

<https://www.akita-pu.ac.jp/>
令和4年9月